

岐臨技会報



2020年1月20日 発行

<Gifu>Association of Medical Technologists



2020 年新年のご挨拶



(一社) 岐阜県臨床検査技師会

会長 浅野 敦

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年5月に、元号が令和となり新しい時代の幕が開きました。岐阜県臨床検査技師会は、6月の春季拡大研修会・定時総会後に「岐臨技交流会」を新たな事業として開催し、11月の秋季拡大研修会後には第2回目となる技師長連絡協議会を執り行いました。これらは、施設を超えた会員間の交流とともに当会の組織強化に繋がると考えており、今年も継続して実施いたします。昨年以上に多くの会員にご参加いただけることを期待しております。また、昨年の大きな事業として第58回日臨技中部圏支部医学検査学会が挙げられます。岐臨技会員の皆様には、実行委員、実務委員、一般演題エントリ、学会参加と多方面でご支援をいただきました。残念なことに、学会当日は台風接近の影響を大きく受けることとなり、公共交通機関運休による参加予定者の欠席、そして企画変更も余儀なくされました。このような状況でありましたが、臨機応変な対応と協力で学会を盛り上げていただき、そして無事終了することができました。岐臨技会員の皆様に、改めて感謝を申し上げます。

2020年、国民の関心は東京オリンピックですが、医療分野においては診療報酬の改定が行われる重要な年でもあります。これに向け様々な議論がされているようで、議題の中には働き方改革も含まれています。昨今、タスクシフティングやタスクシェアリングをよく耳にしますが、臨床検査技師の役割・方向性が今一つ明確でないように感じます。特に行政の役人からすると、臨床検査技師は蚊帳の外という見解を持っているのでしょうか。我々は、ここ数年パラダイムシフトをキーワードにスキルアップや人材育成をテーマとした研修会および学会を開催してきました。今年も昨年同様に各種研修会の開催を予定しています。会員の皆様には積極的に参加していただき、世の中の流れを認識しこの先の飛躍へと繋がる一步を踏み出していただければ幸いです。“メディカルスタッフに臨床検査技師が不可欠である”と、誰もが発言する医療現場を目指していきましょう。

最後になりますが、今年も変わらぬご理解とご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

令和
二年



令和元年度 秋季拡大研修会

令和元年 11 月 23 日（土）に東濃地区担当：セラトピア土岐（大会議室）にて秋季拡大研修会を開催しました。当日は天候にも恵まれて、88 名の皆様にご参加いただきました。同施設にて、農業祭が開催されており、駐車場が大変混雑しました事、深くお詫び申し上げます。

今回の秋季拡大研修会はテーマを【救急医療】とし、生理検査部門で大垣市民病院 救命救急センター医長 坪井重樹先生より「救急医療における血管疾患」。輸血検査部門で松波総合病院 救急科部長 八十川雄図先生より「救急医療と緊急検査」。の講演をいただきました。

ランチョンセミナーでは、アボットジャパン株式会社 櫻井崇先生より「救急医療におけるバイオマーカーへの期待」。キャノンメディカルシステムズ株式会社 竹中顕一郎先生より「救急医療における CANON 超音波診断装置の有用性」。の講演をいただきました。

市民公開講座は、市民 6 名の参加、岐阜県総合医療センター 乳腺外科部長 長尾育子先生より「最近の乳腺診療」の講演をいただきました。

どの講演もわかりやすく、勉強になりました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

（一財）ききょうの丘健診プラザ 柴 千春

生命に関わる救急医療の現場で、臨床検査の立場から出来る医療とは何かを現役の救急救命医から教わる大変良い機会となりました。救急医療は急性期の病態を扱う医療であり時間とともに病態が変化するので、的確な判断と迅速な対応が重要になると感じました。健診施設などではこのような急性期の症例を扱う確率は低いので、今回の臨場的な場面で起こりうる疾患の特定や救命医からの見解を聞けてとても新鮮な気持ちになりました。

救急救命医が患者に注意深く自覚や症状の問診を行うことや、治療や薬による様々な合併症の可能性を考慮すること、その後の患者そして患者家族のアフターケアにまで寄り添っていくことなどは改めて臨床検査にはない部分での話であり勉強になりました。

救急医療でも急性発症しやすいものは血管疾患で、特に心疾患が生死に関わることが多いので心電図検査は心臓の状態を把握するのに最も重要なものであると改めて認識しました。救急医療における生理検査分野で代表的なものは心電図検査であり、検査技師が関

われる検査の中でも迅速な対応ができるものだといえるため、今後も不整脈や緊急性のある波形などは特に注意して多くの症例に向き合い学んでいきたいと考えています。

この度は研修会に参加させていただきました。誠にありがとうございました。

（一財）ききょうの丘健診プラザ 大村咲也華



令和元年度 検査と健康展



12月1日(日)に関市のわかくさ・プラザにて開催された、SEKIいきいきフェスタ2019に岐阜医療科学大学さんと共に岐阜県臨床検査技師会も参加し、検査と健康展を行いました。

各部門の企画として、生物化学分析部門では唾液アミラーゼによるストレスチェックとデンタルヘルスケア(口腔内環境を知る)、臨床生理部門では頸動脈エコー、臨床一般部門では擬似尿を用いたおしっこの検査、臨床血液部門では貧血検査・血球の説明(パネル展示)、病理細胞部門では口臭測定器による口臭測定(口腔がんの病理と予防)、臨床微生物部門では手洗いチェック、輸血細胞治療部門では学ぼう血液のゆくえ(パネル展示)、臨床総合部門では健康相談の問診を実施しました。

その他にも医師による健康相談コーナーや、物忘れプログラムによる物忘れのチェック、臨床検査や検査技師について知っていただくためにDVDを流したり、リーフレットの配布をしました。

小さなお子さんを連れた家族の方からお年寄りの方など来場された方々は、各ブースで様々な検査の体験をされたり、検査についての説明を熱心に聞いていらっしゃいました。やはり健康についての関心はみなさん高く、気軽に来場できるこのようなイベントはいつも盛況です。担当していただいた各部門のみなさんも親切、熱心に対応をされ臨床検査技師の仕事についてアピールが出来たのではないかと思います。

また、検査技師の方や岐阜医療科学大学の学生さんの姿を見られた子供さんや、中高生の学生さんが臨床検査について興味をもっていただき、『将来、検査技師になりたい』と感じていただけたら本当に嬉しくおもいます。

今回参加いただいた各部門の皆さん、実務委員を担当された皆さん、前日の設営をされた皆さんご協力有り難うございました。

総合保健センター 澤野晴夫



みどり病院 検査科

みどり病院は、病床数：99床(差額ベッド料・特別室料は徴収しておりません)、診療科目：内科・外科・小児科・透析・リハビリテーション科・放射線科・循環器内科・アレルギー科・健診センターがあります。

1978年に岐阜市東部の新興住宅地に”みどり診療所”として開設しました。その後「この街に健康で安心して住み続けたい」という地域の方々の期待と御協力で、”みどり病院”となり現在に至ります。現在、診療圏に4万5千人方が居住されています。65歳以上の高齢化が30%を超える勢いです。医療だけでなく、介護・福祉を含めたネットワークをつくり、患者・家族を中心に、総合的な展開を行っています。

私たちの医療活動の理念である「いつでも、どこでも、だれでもが安心して受けられるよい医療・福祉」を実現させることを根底として、住み慣れた地域で健康に暮らしていくことを望む住民のために、健康管理などの医療活動、介護・福祉、予防活動に取り組んでいます。高齢化の進んだ地域を支えるために、早い時期から訪問医療（往診）や訪問看護などの在宅医療も充実させてきました。また、慢性疾患の方の健康管理を医療者だけでなく、同じ患者同士で患者会を作って支えあうなどの援助も行っています。地域の方々と「共に」運営をしてゆくことで医療・福祉の「平等」を目指します。

検査科は、現在常勤6名(男性4名、女性2名)・非常勤2名(女性2名)の臨床検査技師が在籍しており、検体検査：生化学、免疫、血液、一般、輸血と生理検査：循環器検査(心電図・ホルター心電図・CAVIなど)、神経系検査(脳波・誘発筋電図)、呼吸機能検査(肺活量・呼気NO測定)、超音波検査(腹部、心臓、頸動脈、甲状腺、下肢静脈など)、睡眠時無呼吸症候群(SAS)の診断検査、聴力、眼底検査などを実施しています。

検査科にもようやく、若手技師が3名に増えました。半面、中堅技師といえる世代がいない状況です。若手とベテランが共に学び、さらなる検査技術の向上と後継者育成に取り組んでいます。今後は、検査室だけではなく、外来・病棟・地域(在宅)などに活動の場を広げ、患者さまにもわかりやすい検査情報を提供していきたいと思っております。



今後も、患者さま、医療スタッフに信頼される検査技師を目指して精進してまいります。

みどり病院検査科 吉田 成彦



第58回 岐阜県医学検査学会のご案内

来る令和2（2020）年3月15日（日）に第58回岐阜県医学検査学会を開催します。

お忙しいとは存じますが、多数の会員の方々のご参加をお願い申し上げます。

事前申込 3月2日（月）して頂くとお弁当付きです。

事前受付用紙は1月定期便に案内します。

またホームページにおいても案内させていただきます。

当日受付も可能！ 行けると思ったら大歓迎！ 是非 お越し下さい!!

【日 時】 令和2（2020）年3月15日（日）

受付開始 午前9時 開催 午前9時30分～

【会 場】 大垣市情報工房 5階 スイंकホール

講演プログラム

教育講演

『口腔がんにおける診断と治療の実際』

大垣市民病院 歯科口腔外科部長 梅村 昌宏 先生

ランチョンセミナー

〈1〉『ALP・LD常用基準法改定の動向と現行法との相違点』

富士フイルム和光純薬株式会社

臨床検査薬事業部 臨床検査薬営業本部 西日本営業部 東海営業

北川 寿仁 先生

〈2〉『血小板凝集能検査とCS/CNシリーズでの測定について』

シスメックス株式会社 名古屋支店 学術サポート課

相原 孝至 先生

市民公開講座

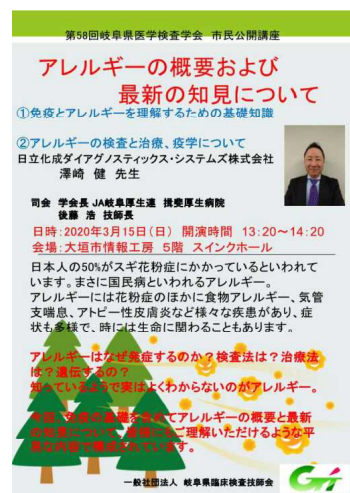
『アレルギーの概要および最近の知見について』

①免疫とアレルギーを理解するための基礎知識

②アレルギーの検査と治療、疫学について

日立化成ダイアグノスティクスシステム株式会社

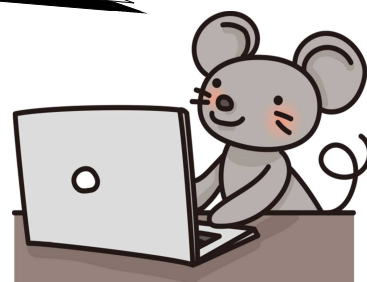
澤崎 健 先生

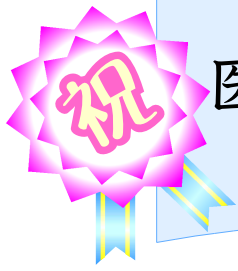


岐阜県臨床検査技師会長 浅野より

岐阜県医学検査学会は、これから医療・医学を学ぶ新人・若手技師の登竜門とされています。

本学会を機にして自己研鑽に励み、医療人・職能人である臨床検査技師としてのスキルを高めて頂くと同時に来ていただいた会員の皆様の日々のルーチンにおいてチーム医療の取り組みの一助となれば幸いです。たくさんの会員の皆様のご来場をお待ちしています。





医学教育等関係業務功労者表彰受賞 朝日大学病院 棚橋富士和さん

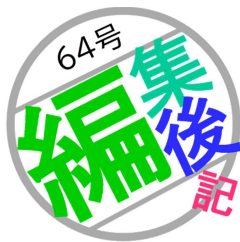
「医学教育等関係業務功労者表彰をうけて」

朝日大学病院 臨床検査部
棚橋富士和

岐阜県臨床検査技師会会員の皆様におかれましては、
謹んで新年のお喜びを申し上げます。

さて、私事になりますが、去る令和元年11月15日(金)
文部科学省にて、医学教育等関係業務功労者表彰(文部
科学大臣表彰)を受賞いたしました。この賞は医学又は
歯学に関する教育、研究若しくは患者診療等に係る補助
的業務に関して顕著な功績があった者を表彰するもので
あります。

このような栄誉ある賞をいただき誠にありがたく思っ
ます。もちろん今回の受賞は私ひとりの力ではなく、朝日大学病院の諸先輩や、技師会の先生
方のご指導、ご協力により受賞できたものと感謝しております。今後は自己研鑽を重ねなが
ら、微力ではありますが挑戦する後輩の応援もしたいと思っています。コロンブスやライト兄
弟が失敗にもめげずチャレンジしたから新大陸発見や空を飛ぶことに成功したように、無謀だ
と言われてもいいじゃないですか、チャレンジするあなたを応援したいです。



皆様あけましておめでとうございます。

昨年は「第58回中部圏支部医学検査学会」本当にお疲れ様でした。

また、会報誌発行に関しまして多大なご協力を頂きましたことを
感謝申し上げます。

令和2年も同様、よろしくお願い申し上げます。

広報誌の内容としましては各学会、各地区イベントの報告だけでなく、様々な情報、御寄稿を掲載
していきたいと考えております。会報誌を通じていろいろな情報交換、意見交換ができればと思っ
ております。

2020年、東京オリンピック開催の年。日本中大きな盛り上がりが予想されます。岐臨技も負けず
に盛り上がっていきましょう！！

発行所(一社)岐阜県臨床検査技師会

〒500-8384 岐阜市藪田南3 丁目5 番地 10 コスタ岐阜県庁前 603 号

TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220

発行責任者 浅野 敦

編集者

高崎 昭彦

松浦 康博

種村 久子

E-mail

giringi-office@giringi.jp